

1988年にNPO法人の活動としてスタートし、有機・低農薬野菜および無添加食品の宅配事業を展開してきたらでいっしゅぼーやは、農業生産者との作付け契約と独自の基準に基づき、安心・安全な食品の提供に取り組んでいる。また、食品残渣のリサイクルや配送資材のリユースなど、事業活動に伴う環境負荷の低減にも注力している。

●有機・低農薬野菜の個別宅配事業を展開

らでいっしゅぼーやでは全国約2,400の農家と作付け契約を結び、有機・低農薬の野菜や果物を買取り、個別宅配方式により約10万人の会員に届けている。有機農業は一般の農作物の生産・流通に比べリスクが高いため、農家が安心して農業生産に取り組めるよう、らでいっしゅぼーやが基本的に全量を買取るしくみになっている。

契約農家は、らでいっしゅぼーやが独自に制定した商品取扱基準「RADIX」に基づき農産物の生産を行っている。「RADIX」はすべての取扱商品を対象としており、生産における基本姿勢、栽培条件、使用禁止資材、包装資材に至るまで、安全性の観点から厳格な基準を設定している。1996年に制定され、その後、環境ホルモンによる人体や環境への影響の懸念、BSE（牛海綿状脳症）や食品表示偽装問題の発生、有機JAS法に基づく認証制度の導入などを踏まえ、2005年に安全基準の見直しを行った。

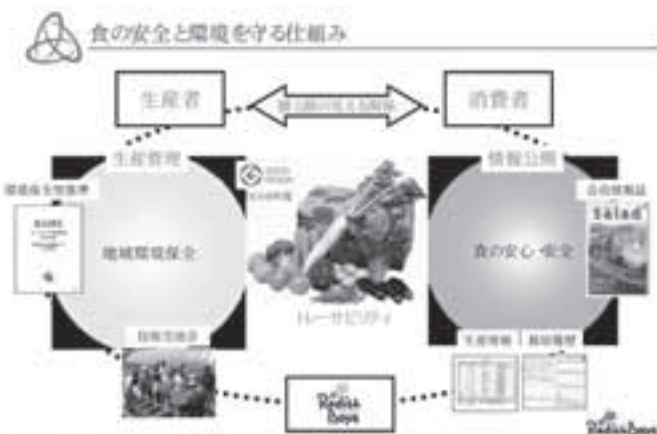
じて3種類の「ばれっと」があり、1年間で約140種類の野菜が届けられる。会員はいずれかの「ばれっと」を購入することが義務となっており、こうしたしくみを導入することにより、有機・低農薬野菜の生産の安定化に結びつけている。

特徴的な商品の1つに「いと愛づらし名菜100選」がある。これは、栽培に手間がかかる、収量が少ないなどの理由により一般の小売店から姿を消しつつある日本の伝統的な野菜を、毎年100種類選び消費者に届けるというもの。野菜の大量生産・大量消費が進む中で失われつつある地域の食文化を大切に、という観点から企画された商品だ。

同社では、安心・安全な食品や環境に配慮した商品のワンストップショッピングを目指し、農作物以外にも、無添加食品、界面活性剤を使用しない洗剤、再生素材を使用した食器など約7,000アイテムの商品を取り扱っている。



有機・低農薬野菜のセットボックス「ばれっと」



●農家と消費者をつなぐユニークな商品を企画

らでいっしゅぼーやの代表的な商品が、有機・低農薬野菜のセットボックス「ばれっと」だ。会員の家族構成に応

●事業活動に伴う環境負荷の低減

らでいっしゅぼーやでは、カーボンオフセットによりCO₂ゼロ配送を行うとともに、事業活動に伴って発生する廃棄物の資源循環にも力を入れている。

配送センターには業務用のリサイクラーを設置し、食品残渣を堆肥化して契約農家で使用することにより、資源循環を実現。また、家庭から排出される生ごみを乾燥して回収、堆肥化する「エコキッチン倶楽部」も運営しており、約2,000世帯が参加している。

商品の配送に使用する段ボール箱は約12回、発泡箱は約25回再使用し、廃棄物の排出を抑制している。さらに、カタログやチラシ、牛乳パック、不要になった食器などの回収・リサイクルにも取り組み、事業活動に伴う環境負荷の低減に努めている。